



# 広報 なかわだ

## 第277号

2月の予定

灰の水曜日	2月13日
委員会	2月 3日
壮年会、婦人会	2月17日
サロン	2月10,24日
レジオ	2月 8,15,22日



### 幼い頃 ①

山崎 正俊

くばられた  
おべんとうを  
たべ  
こんぶのつくだに  
おいしいおかずを  
ごちそうさんして  
おちやをのみ  
まんぷくです  
あめはやみました  
かぜがすこしふいて  
かわがながれるおと  
てつきょうの  
ちやいろの  
さびどめ  
そのしたに  
うらがえしの  
きかんしゃが  
だつせんしておちています  
だから  
あるいて  
わたるのです

アマルベの  
きしゃの  
きやくしゃの  
そとです  
おおきなこえで  
うたをうたいました  
「いまは  
やまなか  
トンネル  
テッキョウ  
わたるぞと」  
おとうさんに  
おぶわれて  
うすぐらい  
さむい  
くるまのそとに  
あしを  
ふみはずさないように  
せんろのあいだに  
あついたが  
しいてあるので  
あんしん  
おおきなにもつは  
えきのひとに  
たのみ  
ちいさなカバンは  
おとうさんのてに  
トンネルのいりぐちは  
あちらがわ  
テッキョウのむこうに

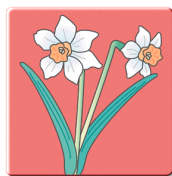
まつくらのあなを  
みせています  
ながいトンネルも  
でんきがついていて  
へいきです  
そして  
ちいさなはこの  
きしゃです  
ひろいたんば  
そのむこうに  
ひくいやま  
きしゃのなかは  
あたたかく  
たくさんのひとが  
いっぱいです  
おとうさんとぼくは  
やつくちのおじいさんの  
ところにゆきます  
じんりきしゃで  
おおきなモンとヒロイにわの  
おじいさんのうちに  
ゆうがたくらくなつて  
ぶじにつきました  
それから  
トネガワのちかくの  
シヨウデンサマに  
おまわりして  
30センチほどの  
セルロイドのあかい  
コイをいただきました  
(2002. 1. 20)

- ❖ 議案
  - ◆ 2月の聖書朗読： 2/3 下村さん 2/24 竹内さん
  - ❖ 壮年会総会
    - ◆ 13年度活動報告・・福島
    - ◆ 13年度会計報告・・橋
    - ◆ 14年度行事予定・・福島
    - ◆ 連絡網の変更、その他
  - ❖ 全体を通して意見交換
    - ◆ 教会東側草地の利用：・地主了解は取ったが、地域、区役所等から苦情が出ぬよう、調べておく必要あり
    - ◆ 聖歌隊について： 指導してもらう事も考慮して、立て直したい。石井さんに検討してもらう。
    - ◆ 物置について： 土台、床板がシロアリにやられている、調べて補修するか、新設するか検討する。
    - ◆ 子供用のスリッパについて： 大人用のスリッパを履いて歩くと、音が大きくミサの雰囲気は損なわれる。音が小さい子供用のスリッパを揃えると良い。

総会后、新年会を「藤よし」で、行いました、(15名参加)中閉め後、同じ場所でカラオケまで楽しんで、和やかなうちに、今年1年の、活動をスタートしました。

### 婦人会だより

< 1月27日(日) 38名出席 >



- 平成 14 年度総会
- ❖ 開会の祈り
- ❖ 神父様のお話： 私たちは、命を与えられた神のおはかりを知り、他に奉仕しなければ、と思います。
- ❖ 平成 13 年度 年間活動報告
- ❖ 平成 13 年度 会計報告(一般、特別)
- ❖ 会計監査結果報告 (松下ツヤ子)
- ❖ 質疑応答
  - Q:特別会計のうちの「雑収入」の額が多い件について。
  - A:物品販売の際のつり銭の寄付とか単品で買っていたものなどの金額を一括したもの。⇒ 今後はもう少し細かく分けて記載することとする。
- 【ここで新旧役員交代】
- ❖ 委員会報告(「委員会だより」参照)
- ❖ 阿部(映)副委員長から、「共同祈願」について、委員会でも提唱されているが典礼として大切なので
  1. 個人的に祈りの希望があれば前もって申し出る。
  2. 子ども達に一言づつでも祈ってもらっては。というお話あり。また、委員会の報告は今後阿部(映)委員または位田委員が行なうことが告げられた。
- ❖ 婦人会会費は 100 円/年間で据え置く。
- ❖ 規約の細則の変更: お見舞、餞別、出産祝いの項を削除し、今後は霊的花束またはカードのみとする。
- ❖ 遠足: 今年は婦人会の行事としないで、案があったら有志を募って自由に行くことで承認された。
- ❖ バザー奉仕日: いろいろ意見が出ましたが、役員で話し合い、来月までに決定します。
- ❖ 役員選出方法: 高齢化や人数が地区により片寄りがあるなど、選出に苦労するという(特に A と C 地区)意見が出たが、決定的なよい案がなく、今年の課題。
- ❖ お知らせ事項:
  - ◆ 台所の調理台を早急に修理したいので、よい業者があったら紹介してください。
  - ◆ 婦人同志会で古切手を集めています(高齢司祭援助のため)のでご協力ください。
- ❖ この後新年会となり、乾杯、お食事、中谷さんの大正琴演奏等で和やかなひとときを過ごしました。次回例会は、2月17日(日) 当番は B 地区です。

### 委員会だより

< 1月6日(日) 12名出席 >

- 1】財務報告： (金額は信徒総会報告参照)
- ❖ 2001 年度決算報告：
  - ① 一般会計
    - ◆ 収入：献金未納あり、95 口で 316,300 円(予算 102 口) 山崎神父様中心の特別献金で何とかなっている状況
    - ◆ 支出：敬老会節約、などで行事費が減少している。布教強化費：若干増えている。
    - 教育養成費：これも活動が減っているので.....
    - 事務用品：トナー、馬小屋材料費など若干増
    - 支払手数料：消火器点検手数料など
  - ② 建設会計
    - ◆ 収入：97 口、ほぼ予算に対し 100%。バザー貢献大
    - ◆ 支出：結果として借入金 230 万円残っている。
    - 電気配線の老朽化補修、FAX 交換(機器の老朽化)、バザーの為中古のテーブル 4 脚購入、ウオシュレット購入
  - ③ 愛の献金: 口数 53、 指定献金の名目変更あり
  - ④ 信徒会計: バザー収益 625,134。内訳詳細は先月号。
- ❖ 2002 年度予算案審議
  - ① 一般会計予算案：
    - ◆ 収入：献金決算額と同額とする。特別献金は予想つかないが、300,000 円を予算としていれる。
    - ◆ 支出：決算に現れない祭儀費項目等を入れる。 教育養成費：決算と同額。 消耗備品費：御聖堂椅子 100,000 円、パソコンとプリンタ 150,000 円追加。 通信費：パソコン通信費¥20,000 予算案より増額。 本部分担金など：前年並み 予備費：通信費増分減で ¥30,000 に
  - ② 建設会計予算案：
    - ◆ 収入：101 口と若干増やした。呼びかけをしたい。バザーを本年もお願いし、30 万円予算化。
    - ◆ 支出：信徒会館渡り廊下修理、20 万円を予算化
  - ★1月15日に監査を受ける(監査委員は富田さん)。
  - ★初聖体、要理等、子供達増で本年は夏期学校を考える(井上さん) ⇒ 教育養成費増額。(夏期学校+3 万で 6 万円に)これに伴い、信徒総会に諮る一般会計予算案は、収入 5,940,170、支出 5279600、収差 660,570 となる。
  - ★交通費の考え方：基準の考え方をはっきりせねばならない。布教強化費、行事費で処置すべきでは？ 支払う方向で委員会で検討 当面「予算外」で処置
  - ★広報関連経費は独立計上してははっきりさせるべき？ ⇒ 当面「コピー事務用品」を「教会報、他」に改める。
  - ★信徒会計の 2001 年度予定額 46 万→51 万円に訂正
- 2】議事内容
  - ❖ 成人式ミサ： 該当者 3 名中、島倉君出席、段取りは次の通り。ごミサ： 共同祈願、贈り物 その後新集会室にて 委員長挨拶、先輩(若い人)からの話、乾杯(コーヒー)、歌(宮崎さん)、ハモニカ(小谷さん) プレゼントはゼノ神父、北原玲子さんの絶版本。
  - ❖ 信徒総会プログラム： プログラムは OK 委員改選の件： 一粒会委員は教会委員会のメンバーなのか？ ⇒ 司教様の任命であり別とすべき(結論)。一粒会委員の改選： 別途打合せ 2002 年度教会行事予定表： 信徒総会に諮る。
  - ❖ 消防隊：組織表別途掲示する。

### 壮年会だより

< 1月27日(日) 15名出席 >

- 始めに 1 月度の委員会を、続けて壮年会総会を行った。
- ❖ 委員会報告(1 月度) (教会報を参照)



# 一年間を振り返って

岩崎 好愛



# 新婦人会会長挨拶

阿部 寿美恵

「順番だから仕方がないですね」と言って婦人  
員をお引き受けして、もう一年が過ぎました。いいえ  
「やっと終わったわ」という実感の方が大きいかもしれ  
ません。一方では役員同士の連帯感で楽しいこともた  
くさんありましたし、また一方ではいろいろと細かい  
仕事次々とあってとても大変でしたし、終ってみて  
の心境は複雑です。

そんな一年のなかで、婦人会会員の高齢化の現実  
を受け止めながら、そのことをいくらかでもみんな  
で考える機会を持ってましたことを大変うれしく思  
いました。「今まで通りにはいかない。変えるべきは  
変えていこう。しかし、婦人会はやはり必要」という  
結論だったと思います。

役員を務める者にとって、みなさんの積極的な関  
わりはもちろんです。せめていつも関心を寄せてい  
てくださることが、大きな励みになるのではないかと  
つくづく思いました。役員一同に代わって、一年間の  
皆様の支えとご協力に心から感謝申し上げます。

ありがとうございました。

年月の経つのは早いもので、今年度の婦人会役員  
の順番がまたまわって参りました。

ここ数年、中和田教会も高齢化が進んで、当婦人  
会員の平均年齢も63、4歳となるそうですから、段々  
と動ける方も少なくなって、これまで通りの(10年前  
と同じように)活動をしようと思えば無理な面も多  
くなり、役員の方たちの負担が大きくなるのは必然と  
なりましょう。会員の方々からも、役員選出の度に、何  
とかよい方法を考えて欲しいとの声が出ており、これ  
からの婦人会として一つの課題になってきて居りま  
す。

かく申す私も、昨年来何となく体調に自信がなくな  
り、今年の役員もお引き受けできるかと案じられまし  
たが、昨年秋の湘南セミナーで晴佐久神父様のご講  
話を伺い、「だいじょうぶだよ。聖霊が何時も守って下  
さるんだから」とのお言葉に勇気を戴き、出来るだけ  
のお役に立てればそれでいいという気持ちでやらせて  
頂くことに致しました。

何卒皆様の暖かいご協力をお願い申し上げます。



# 壮年会長の一年

福島 清

月日の早さは、年を重ねる毎に早くなり、矢よりも早く弾丸の如しでありました。

就任の抱負はほとんど何も出来ず、ただ一つ、「楽しくお茶を飲みましょう」は出来たのかなと思っ  
ております。毎月の壮年会報告には、載せておりませんが、お茶を飲みながら、教会の諸問題について、ざっ  
くばらんに意見交換をして頂き、大変よかったですと思っております。

アメリカの国立ガン研究所では、手術、薬による治療のほかに、カウンセラーと一緒に、患者同士が話し  
合う事によって、病気に対する免疫力が向上して、カウンセリングを受けていない患者より、長生きするこ  
とが、分かってきました。研究所では重要なテーマとして取り組んでいると、言われています。

自動車メーカーのホンダでも、ワイガヤ(わいわい、がやがや)と称する、話し合いの中から、開発のヒント  
が生まれており、会社も奨励しております。

壮年会では、今年も、ざっくばらんに、話し合いをする事を、モットーにしていきたいと思ひます。壮年  
会の集まりが、教会が楽しい憩いの場所になる一助となれば、思っております。

壮年のみなさん、議事録に載っていない、楽しい茶飲み話を、大勢でやりましょう、どんな話題でも、大  
歓迎です、ご参加をお待ちしております。

# お知らせ

2月13日(水)の「灰の水曜日」午後6時より。去年の枝をご持参ください。

## ミサ 当番表 (2002年2月、3月)

月/日	主 日	朗 読、奉 納	オルガン	月/日	主 日	朗 読、奉 納	オルガン
2/3	年間第四主日	壮 年 会	岩 淵	3/3	四旬節第三主日	壮 年 会	森 田
2/10	年間第五主日	青 年 会	森 田	3/10	四旬節第四主日	青 年 会	美 底
2/17	四旬節第一主日	婦人会B地区	美 底	3/17	四旬節第五主日	婦人会C地区	岩 淵
2/24	四旬節第二主日	壮 年 会	岩 淵	3/24	枝の主日	壮 年 会	森 田
				3/31	復活の主日	婦人会C地区	美 底

当番の方は10分前には集合して下さい。ご都合の悪い方は  
典礼委員(萩原氏: 電 802-6258)迄お申し出下さい。

# 平成14年度信徒総会 報告

<1月20日(日)10:00am-12:00 出席者: 35名>

- ◎ 開会宣言、主の祈り(萩原さん)
- ◎ 山崎神父様のお話: 「愛」とは難しいことを言うことではない。神様は行いを見ている。「愛」とは権威を示すことではない。「愛」とは行いである。種々お話を頂いた。
- ◎ 議長挨拶(小野寺さん): 昨年は世界的にも大変な年だったが、山崎神父様を中心として婦人会、壮年会等が結束行動し、大過なく乗り切れた。泉区民クリスマスの開催も大きな出来事。区内の7つの教会、幼稚園が一体となりクリスマス祝ったことは感動的。プロテスタントの方々とも話合せ本当に良かった。小教区の枠を超えて「交わる」ことは梅村司教の方針でもあり、更に発展させて行きたい。中和田教会でも女子の侍者が始まるなど、新時代に向けていろいろ新しいことが始まっている。

## ◎ 平成13年度一般会計収支決算報告(甲斐さん):

( )内: 予算	01° 累計収入	01° 累計支出	収支差額
一般会計	6,555,790 (6,073,380)	5,515,620 (5,297,000)	1,040,170 (776,380)
建設会計	2,292,070 (1,876,674)	1,894,050 (1,817,000)	398,020 (59,674)
愛の献金	689,388 (617,864)	327,599 (320,000)	361,789 (297,864)
信徒会計	929,828 (744,520)	582,698 (510,000)	347,130 (234,520)

特記事項は以下の通り。

- ① 一般会計:
  - ◆ 月定献金: 対予算未達の状況。まだ未納がある。
  - ◆ 特別献金: 決算額102万円のうち約85万円を山崎神父様から頂いた。神父様図書費と外部団体支出を差し引くと、正味30万円財政援助頂いていることに。
  - ◆ 祭儀費: 予算(45万円)に比し実績が少ない(39万円)のは、他神父様に対するミサ謝礼が少なかった為。
  - ◆ 教育養成費: 夏期学校無し等、活動が少なかった。
  - ◆ 消耗備品費: 側溝工事40,000が最大
  - ◆ 支払手数料: 殆どがコピー機、消火器点検の出費。
- ② 建設会計: 一般会計と同様未納部分あり。信徒会からバザー収益より40万円寄付頂いた。支出では、電気配線老朽化の改修、電話機老朽化の買替、バザー用テーブル中古品購入、ウォッシュレット購入等。
- ③ 信徒会計: バザー収益625,134は予算500,000を大幅超過。建設献金を10万円増やし40万円とした。

## ◎ 平成13年度一教会会計及び事業報告(宮崎さん):

- ① 活動内容説明: 平成13年1月: 第一回第五地区委員会(原宿教会)指導司祭: 山本神父様 平成13年5月: 第五地区内祈りのリレー 平成13年9月: 第34回横浜教区一粒会大会(富士聖ヨハネ学園にて) 中和田教会から9名参加。平成13年11月: 第二回第五地区委員会(原宿教会)指導司祭 山本神父様
- ② 会計報告: 収入計335,725円全額本部に送金した。中和田の会員数72名
- ③ 神学院状況: 東京神学院に31名の学生が在籍。
- ④ 平成14年度一粒会委員: 竹内さん、下村さん、引継ぎを兼ねて宮崎さん留任 計3名体制。

## ◎ 平成14年度予算案説明(甲斐さん):

	2002年収入	2002年支出	収支差額
一般会計	¥5,940,170	¥5,249,600	¥690,570
建設会計	¥2,098,020	¥1,578,000	¥520,020
愛の献金	¥651,789	¥320,000	¥331,789
信徒会計	¥847,130	¥510,000	¥337,130

特記事項は以下の通り。

- ① 一般会計:
  - ◆ 月定献金: 95口計3,800,000円予定(2001年度なみ)
  - ◆ ミサ献金: 800,000円で若干増、信徒に増額をお願い。
  - ◆ 特別献金: 神父様から300,000円頂くことを期待
  - ◆ 祭儀費: 従来神父様負担のホスチャ等を全部計上。
  - ◆ 行事費: 2001年度なみ
  - ◆ 教育養成費: 夏期学校開催を予定
  - ◆ 消耗備品費: 御聖堂椅子、パソコン(15万円)など
  - ◆ 通信費: ホームページ関連で増額
- ② 建設会計: バザーで信徒会から30万円の献金を期待信徒会館渡り廊下屋根修理200,000支出を予算計上
- ③ 信徒会計: 一応「予定」として決めさせて頂いた。
- ◎ 教会委員改選(山崎神父様、阿部さん): 今回改選せず(山崎神父様のご高齢、体調不調等による御希望)一粒会、第五地区宣教委員は委員会とは別の位置付けとし必要に応じ委員会に出席。教会委員、役員は次の通り。
  - 委員長 花坂洋一
  - 副委員長 小野寺功(青少年問題担当)、阿部映子(渉外担当)
  - 財務委員 甲斐至信
  - 典礼委員 萩原政弘、位田裕子
  - 広報委員 岩淵英介(インタネット担当)、岩崎好愛
  - 行事委員 福島清
  - 要理委員 井上昭男、島倉文江
  - 書記委員 小野雅彦(インタネット担当)、山本仁
  - 一粒会役員 宮崎佐喜男、竹内廣治、下村昭子
  - 聖体奉仕役員 竹内廣治、小野寺功、小山恭子、阿部映子
  - 第五地区司牧宣教役員 石井三男、内藤和子
- ◎ 第五地区福音宣教委員会活動報告: 内藤さん概要報告。湘南短期キリスト教セミナーは小野寺さんが報告、特に、話を聞きたい講師があれば提案して欲しい由。
- ◎ 平成14年度予定説明: 福島さんが、平成13年度年度総括と14年度予定説明。(ほぼ13年度に準じた予定)
- ◎ 質疑応答(氏名略):
  - Q1: (要望)教育養成費が1/3くらいしか使われぬ。即効性はないが、使い切り足りない位に活用して欲しい。極力神父様の献金は、遠慮した方が良いのでは?
  - A1: 教育養成費はご指摘に沿いたい(必要なものはどんどん出す)。現状、山崎神父様収入のかなりを献金頂いている。ご指摘の件は、今後委員会で検討していく。
  - Q2: 神父様の給料は決まっているのか?
  - A2: 教区から指定あり。今年度は増減の指示が教区から無いので昨年と同額とした。
  - Q3: 教育養成費に関連して、子ども向けのミサの本を買っておいたらどうか?
  - A3: ご提案に沿いたい。
  - Q4: 今年は初聖体がないのか? 教育養成費にないが。
  - A4: 予算策定段階で決まっていなかったもので、項目としていない。予算案では2つのアイテムでくくったが、実行段階で弾力的に運用。
  - Q5: 梅村司教様の3方針の具体化を検討して欲しい。
  - A5: ご指摘は重要で本質的なことと認識。委員会も一体となり取り組んでいきたい。中和田はメンバーに恵まれており、例えば小谷さんはお一人で区民クリスマス中和田代表を務められた。(阿部さん補足)12月に山手教会で教区神父様より、司教様方針の具体化はまだこれからの段階との話を伺った。これから小教区と一緒に考えていく段階が、高齢司祭の施設問題等横浜教区が遅れている所もある由。これからは信徒が教会を守っていかねばとの考えが中心になる。

小谷さんより答を込めて、ヤマハのハモニカコンテストの話、抱負などのお話あり。

◎ 決算、予算案等信徒総会議案は、出席者拍手で承認。

◎ 終わりの言葉とお祈り(阿部さん)